



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月2日

上場会社名 ニチコン株式会社

上場取引所 東

コード番号 6996 URL <http://www.nichicon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 茂雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員専務 IR室長 (氏名) 近野 斉 TEL 075-231-8461

四半期報告書提出予定日 平成29年11月7日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	57,007	16.7	2,937	174.0	3,545	183.3	2,149	
29年3月期第2四半期	48,867	12.8	1,072	53.5	1,251	46.6	949	63.0

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,428百万円 (%) 29年3月期第2四半期 2,913百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	30.87	
29年3月期第2四半期	13.64	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	152,182	103,311	66.7	1,457.26
29年3月期	141,206	101,783	70.8	1,436.19

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 101,481百万円 29年3月期 100,014百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		10.00		11.00	21.00
30年3月期		11.00			
30年3月期(予想)				11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	14.5	5,400	78.9	6,100	28.4	300		4.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	78,000,000 株	29年3月期	78,000,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	8,361,519 株	29年3月期	8,360,947 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	69,638,884 株	29年3月期2Q	69,639,430 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	9
(1) 所在地別業績	9
(2) 海外売上高	10
(3) 販売実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日～平成29年9月30日)のわが国経済は、輸出を中心とした企業業績の改善が続き、緩やかな回復傾向となりました。海外については、米国経済は、個人消費の増加などにより、緩やかな拡大が続きました。欧州経済は、地政学的リスクなどによる先行き不透明感は引き続きあるものの、輸出や内需の伸びにより回復傾向となりました。また、中国経済に減速の懸念が出ているものの、公共投資の回復により持ち直しの動きが見られました。

このような状況において当社は、IoTやAIなど、新たなキーテクノロジーによって多様化する重点4市場「エネルギー・環境・医療機器」「自動車・車両関連機器」「白物家電・産業用インバータ機器」「情報通信機器」に引き続き注力しました。コンデンサ事業については、パワーエレクトロニクス用として車載向けおよびインバータ・産業機器向けコンデンサの売上が増加しました。また、アルミ電解コンデンサの定格拡充や高温度、長寿命、高リップルに対応した導電性高分子ハイブリッドアルミ電解コンデンサの新製品を市場投入しました。

NECST(Nichicon Energy Control System Technology)事業を当社の経営の新たな柱にすべく注力し、主力製品である家庭用蓄電システム「ホーム・パワー・ステーション」や、医療用加速器電源など応用関連機器の売上が伸びました。また、来る蓄電新時代に向け、太陽電池とEV/PHVと蓄電池をつなぐ次世代蓄電システム「トライブリッド蓄電システム」を開発しました。さらに、より手軽に蓄電システムを導入したいというニーズに応えるため配線工事が不要な「ポータブル蓄電システム」を開発し、新たな市場への提案を始めました。EV関連については頻発する自然災害への対応として、EV・FCV・PHVの大容量電池から電気を取り出し避難所や家庭の照明、通信、空調などへの活用を可能にする可搬型給電器EVパワー・ステーション「パワー・ムーバー」の量産を開始しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は57,007百万円と前年同期比16.7%の増収となりました。また利益につきましては、営業利益は2,937百万円と前年同期比174.0%の増益、経常利益は3,545百万円と前年同期比183.3%の増益、親会社株主に帰属する四半期純損失は、独占禁止法関連損失4,748百万円を特別損失に計上したことなどにより、2,149百万円(前第2四半期連結累計期間は949百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前期末(平成29年3月末)に比べ10,975百万円増加し152,182百万円となりました。主な増加の内容は、有価証券・投資有価証券が前期末に比べ6,583百万円増加し44,355百万円となったことや、現金及び預金が前期末に比べ1,649百万円増加し24,147百万円となったことに加え、受取手形及び売掛金が前期末に比べ1,375百万円増加し31,701百万円となったことなどによるものです。

負債合計は、前期末に比べ9,447百万円増加し48,870百万円となりました。主な増加の内容は、未払金などを含むその他の流動負債が前期末に比べ5,521百万円増加し14,813百万円となったことに加え、繰延税金負債などを含むその他の固定負債が前期末に比べ1,811百万円増加し6,489百万円となったことなどによるものです。

純資産は、前期末に比べ1,528百万円増加し103,311百万円となりました。主な内容は、その他有価証券評価差額金が4,308百万円増加し12,801百万円となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純損失を2,149百万円計上したことなどによるものです。また、自己資本比率は66.7%となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、5,157百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失が1,374百万円となりましたが、未払金の独占禁止法関連損失4,748百万円の計上前では3,374百万円の収入となったことに加え、減価償却費を1,398百万円計上、仕入債務の増加額が1,764百万円となったことなどによるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、2,641百万円の支出となりました。これは主に、有価証券の売却及び償還による収入が4,962百万円となりましたが、有形固定資産の取得による支出が1,940百万円となったことに加え、有価証券・投資有価証券の取得による支出が5,311百万円となったことなどによるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、981百万円の支出となりました。これは主に、配当金の支払額が766百万円となったことなどによるものです。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ1,754百万円増加し23,033百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成29年8月2日に「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました内容を変更しています。

詳細につきましては、本日(平成29年11月2日)公表しました「平成30年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と決算値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(業績の予想に関する留意事項)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,498	24,147
受取手形及び売掛金	30,325	31,701
有価証券	5,030	5,942
商品及び製品	7,227	7,797
仕掛品	4,838	4,761
原材料及び貯蔵品	5,733	5,899
その他	4,648	3,868
貸倒引当金	△51	△48
流動資産合計	80,250	84,070
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,155	13,003
機械装置及び運搬具(純額)	4,880	5,575
その他(純額)	7,260	7,872
有形固定資産合計	25,296	26,452
無形固定資産	754	1,124
投資その他の資産		
投資有価証券	32,741	38,413
その他	2,399	2,371
貸倒引当金	△237	△249
投資その他の資産合計	34,904	40,535
固定資産合計	60,955	68,111
資産合計	141,206	152,182

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,151	20,215
短期借入金	1,800	1,800
未払法人税等	792	854
賞与引当金	999	1,103
その他	9,292	14,813
流動負債合計	31,035	38,787
固定負債		
その他の引当金	1,282	1,344
退職給付に係る負債	2,426	2,249
その他	4,677	6,489
固定負債合計	8,387	10,083
負債合計	39,423	48,870
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,286	14,286
資本剰余金	17,068	17,068
利益剰余金	69,636	66,720
自己株式	△10,121	△10,122
株主資本合計	90,870	87,954
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,492	12,801
為替換算調整勘定	650	725
その他の包括利益累計額合計	9,143	13,526
非支配株主持分	1,768	1,830
純資産合計	101,783	103,311
負債純資産合計	141,206	152,182

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	48,867	57,007
売上原価	40,657	46,384
売上総利益	8,210	10,623
販売費及び一般管理費	7,138	7,685
営業利益	1,072	2,937
営業外収益		
受取利息	84	90
受取配当金	201	227
持分法による投資利益	88	91
為替差益	—	176
その他	140	108
営業外収益合計	515	694
営業外費用		
支払利息	13	10
為替差損	269	—
その他	53	75
営業外費用合計	335	86
経常利益	1,251	3,545
特別利益		
固定資産売却益	219	3
特別利益合計	219	3
特別損失		
固定資産処分損	12	13
独占禁止法関連損失	—	4,748
その他	8	161
特別損失合計	21	4,923
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,450	△1,374
法人税、住民税及び事業税	518	804
法人税等調整額	△90	△188
法人税等合計	428	615
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,021	△1,990
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	71	159
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	949	△2,149

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,021	△1,990
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	667	4,271
為替換算調整勘定	△4,179	127
持分法適用会社に対する持分相当額	△422	19
その他の包括利益合計	△3,935	4,419
四半期包括利益	△2,913	2,428
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,919	2,233
非支配株主に係る四半期包括利益	6	195

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,450	△1,374
減価償却費	1,752	1,398
独占禁止法関連損失	—	4,748
売上債権の増減額(△は増加)	660	△1,107
たな卸資産の増減額(△は増加)	△680	△470
仕入債務の増減額(△は減少)	1,794	1,764
その他	△2,038	651
小計	2,938	5,611
法人税等の支払額	△730	△761
その他	272	307
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,479	5,157
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△4,034	△3,860
有価証券の売却及び償還による収入	6,822	4,962
有形固定資産の取得による支出	△1,240	△1,940
投資有価証券の取得による支出	△2,289	△1,451
その他	201	△351
投資活動によるキャッシュ・フロー	△540	△2,641
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△696	△766
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△186	△214
財務活動によるキャッシュ・フロー	△882	△981
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,748	219
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△692	1,754
現金及び現金同等物の期首残高	25,857	21,279
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,165	23,033

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)および当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

当社グループは、「コンデンサおよびその関連製品」の製造ならびに販売を主な事業としており、各拠点に製品の販売もしくは製造、またはその両方の機能を置き、本社はグループ全体の戦略を立案し、事業活動を展開しています。当社グループは、各拠点別を基礎とした事業セグメントから構成されており、経営意思決定および業績評価を行っていますが、当該事業セグメントの経済的特徴、製品およびサービスの内容、製品の製造方法または製造過程やサービスの提供方法などの要素が概ね類似していることから、「コンデンサおよびその関連製品」の単一の報告セグメントとしており、記載を省略しています。

3. その他

(1) 所在地別業績

・所在地別業績

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

	日本 (百万円)	米国 (百万円)	アジア (百万円)	欧州他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	21,449	3,224	20,571	3,622	48,867	—	48,867
(2)所在地間の内部売上高又は振替高	12,564	0	4,312	—	16,877	△16,877	—
計	34,014	3,224	24,884	3,622	65,745	△16,877	48,867
営業利益又は営業損失(△)	△446	△69	1,312	129	925	146	1,072

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

	日本 (百万円)	米国 (百万円)	アジア (百万円)	欧州他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	23,831	3,706	25,062	4,406	57,007	—	57,007
(2)所在地間の内部売上高又は振替高	15,529	—	6,003	0	21,533	△21,533	—
計	39,361	3,706	31,065	4,407	78,541	△21,533	57,007
営業利益	838	23	1,907	189	2,959	△21	2,937

(2) 海外売上高

・海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

	米州	アジア	欧州他	計
I 海外売上高(百万円)	3,228	21,183	3,625	28,037
II 連結売上高(百万円)				48,867
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	6.6	43.4	7.4	57.4

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

	米州	アジア	欧州他	計
I 海外売上高(百万円)	3,709	25,640	4,411	33,762
II 連結売上高(百万円)				57,007
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	6.5	45.0	7.7	59.2

(3) 販売実績

・販売実績

製品区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減比 (%)
電子機器用	32,012	65.5	38,806	68.1	6,793	21.2
電力・機器用及び応用機器	4,271	8.7	5,922	10.4	1,651	38.7
回路製品	12,066	24.7	11,789	20.7	△277	△2.3
その他	517	1.1	489	0.8	△28	△5.5
合計	48,867	100.0	57,007	100.0	8,139	16.7